

2017年度以前入学生対象
カリキュラム・ポリシー
(教育課程編成・実施の方針)

1. 建学の精神に基づく人格教育

互いの「いのち」を尊び、感謝の心で接し合う社会の創造に資する学生の人格形成を支援するために、初年次の必修科目として「宗教学」を設置する。

2. 多角的な視点を身につける教養教育

語学を必修として設置するとともに、「人文科学」「社会科学」「自然科学」の3領域から履修科目を選択する方式により、幅広い学びを保障し、多角的な視点を身につけられる科目を設置する。

3. 自己実現を支援するキャリア教育

大学での学び方や自己の特性を知り、社会人に必要な知識やスキルを身につけるために、自身にあった職業選択につながるキャリア教育科目を設置する。

4. 学生のニーズにしていねいに対応する少人数指導

ゼミナール等を中心として、少人数編成の科目を初年次から最終学年まで縦断的に設置することを通じて、教員や学生同士で「ともに学ぶ」ことを重視した科目を設置する。

5. 体系的カリキュラム

各専攻の専門分野について学び、高い専門性を有する職業人を養成するための知識を重視した科目を設置する。

6. 課題探求的カリキュラム

保育や教育の分野で貢献できる優れた実践力を養成するための演習・実習科目を設置する。

7. 体験的カリキュラム

客観的な視座を保持しようとする態度を養成するために、根拠にもとづく論理的な論述力・表現力を高める科目を設置する。

8. 学際的カリキュラム

常に自己研鑽をし続ける態度・継続力を養成するために、獲得すべき要素を具体化・細分化したシラバスを示し、省察を求める編成とする。

9. 実践的カリキュラム

各専攻の枠内にとどまらず、隣接校種・関係諸機関でのチーム実践や知見を通じて、子どもの成長を統合的に支援する見識と力量を高める科目を設置する。